

三池淵管弦楽団のソル（正月）名節公演

山根 俊郎

国務委員会管弦楽団？

去る1月27日（月）午前10時40分頃、なじみの喫茶店で遅いモーニングを食べていると東京の李詰雨（リ・ヨル・コリアアーツセンター[K. A. C]の音楽プロデューサー）さんから電話をいただいた。

「山根さん、北朝鮮で‘国務委員会演奏団’という楽団ができたのを知っていますか？」との問い合わせであった。

私はなどはにわか仕込みの片手間研究なので「知りませんが…」と答えた。

事情を聞くと「一昨日1月25日（土）に平壌で開催された音楽会に三池淵（サンジョン）管弦楽団、功勳国家合唱団と一緒に国務委員会演奏団が出演したらしい」と日本のマスコミ？から尋ねられたようである。

私は、「それなら間もなくYOUTUBEで実況の動画が出るでしょうから見てみます」と電話を切った。

果たして、その日の夕方には「録画実況・敬愛する最高領導者金正恩同志をお迎えしてソル（正月）名節記念公演」（1:33:33）が出たので見た。

<https://www.youtube.com/watch?v=t-wpiCH1p9Y>

すると、舞台中央に三池淵管弦楽団が正面に扇型に陣取って演奏して、2階正面大画面の下のひな壇には軍服姿の功勳国家合唱団（約30名）が立ちっぱなしで歌っていた。あと、ドレス姿の女性歌手達約6名と軍服姿の功勳国家合唱団の男性歌手が歌うだけであった。

結論として「国務委員会演奏団は、存在しない」のである。

北朝鮮の1月26日付け「労働新聞」（右上）や「朝鮮中央通信」の報道があり、それを転載した日本の1月26日付け「朝鮮新報」（朝鮮語版）などが紛らわしい書き方をしたために生じた誤解であった。

以下にWEBサイト「わが民族同士」（日本語版）を掲げる。



金正恩党委員長が旧正月記念公演を鑑賞

【平壌1月26日発 朝鮮中央通信】朝鮮労働党委員長で朝鮮民主主義人民共和国 国務委員会委員長、朝鮮民主主義人民共和国 武力最高司令官であるわが党と国家、武力の最高指導者金正恩同志が、李雪主女史と共に1月25日、三池淵劇場で旧正月記念公演を鑑賞した。

旧正月記念公演には、国務委員会の演奏団、三池淵管弦楽団、功勳国家合唱団と共に主要芸術団体の歌手が出演した。

出演者は、革命の前進途上に横たわるあらゆる試練と難関を切り抜けて人類史にかつてなかった奇跡と変革の新時代を開き、国の力と地位を全世界に宣揚しているわが党の偉大さを格調高くたたえた。

朝鮮労働党を革命の強力かつ威力ある指導的力に強化、発展させ、革命的党建設の最盛期を開い

ていく金正恩委員長とわが党への限りない敬慕と感謝の念を込めた称賛の歌と、金正恩委員長とわが党に従ってこの世の果てまで忠誠の道を歩くという全朝鮮人民の不屈の意志と気概が脈打つ革命的な歌が場内に響き渡った。

旧正月記念公演は、ナレーション詩と管弦楽と男声合唱「とわに この道を行かん」で終わった。

金正恩委員長は李雪主文史と共に舞台に上がり、出演者に会い、公演の成果を祝った。金正恩委員長は、情熱的で高い芸術的技量でわが党を歌い、わが党の闘争方針に熱烈な支持を示した出演者に温かい感謝を表した。

崔龍海、金慶喜、李日煥、趙甬元、金與正、玄松月の各氏が公演を鑑賞した。

また、平壤市内の主要工場、企業、協同農場の勤労者と革新者、科学研究部門と教育および保健医療部門の活動家、功労者、主要芸術団体の芸能人が公演と一緒に観た。

問題は、「旧正月記念公演には、国務委員会の演奏団、三池淵管弦楽団、功勲国家合唱団と共に主要芸術団体の歌手が出演した」の部分である。
正しくは、「旧正月記念公演には、国務委員会 **傘下機関の演奏団である** 三池淵管弦楽団、功勲国家合唱団と共に主要芸術団体の歌手が出演した」と書くべきであった。

よって、三池淵管弦楽団は、文化省ではなく国務委員会に属していることが分かった。（多分、功勲国家合唱団も同じ）

国務委員会とは？

朝鮮民主主義人民共和国 国務委員会は、2016年6月29日に設立された朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）における国家主権の最高政策指導機関。委員会を司る国務委員長は北朝鮮の元首であり、憲法では北朝鮮を代表する最高指導者と規定される。現在、金正恩がその地位に就いている（Wikipedia フリー百科事典による）

2012年から始まった金正恩時代は、（3年間の喪に服した？）後に、先軍政治の要であった国務委員会を解体して国務委員会を作ったのである。

金日成時代の人民委員会と同じような組織であろう。元に戻したのである。

三池淵管弦楽団の活躍

2018年に三池淵管弦楽団は韓国を訪問して公演したことが南北関係の好転に大いにつながった。

2月8日に江陵市の江陵アートセンター・師任堂（サイムダン）ホール、2月11日にソウル特別市の国立劇場・ヘオルム（日の出）劇場において「2018 平昌冬季オリンピック・パラリンピック成功祈願 三池淵管弦楽団特別公演」が行われた。

公演では北朝鮮の歌に加えて韓国の歌や、世界各国の音楽のメドレーも演じられた。

ソウル公演では、団長の玄松月（ヒョン・ソンウォル・女性）が自ら舞台に立ち、普天堡電子楽団所属歌手の時期に自身の持ち歌として歌った「白頭と漢拏は我が祖国」《백두와 한나는 내 조국》（山根注：2003年・俞東浩詞・黃鎮泳曲）を披露した。

2月16日に平壤市の万寿台芸術劇場で帰還公演が行われた。楽団の構成は、既存の万寿台芸術団三池淵樂団を中心として牡丹峰樂団・青峰樂団・功勲國家合唱団・万寿台芸術団などの芸術人（演奏家・歌手など）から選抜されたメンバーで構成された。歌手は青峰樂団が担当した。（Wikipedia フリー百科事典による）

同年、4月には中国公演も果たしている。

三池淵管弦楽団劇場の建設

2018年1月に金正恩党委員長は、三池淵管弦楽団が専用に使える三池淵管弦楽団劇場の建設を決意する。

金正恩党委員長は8回も建設工事を視察する熱の入れようであった。



そして、2018年10月10日に開館式典が執り行われた。

2018年10月186日付け「朝鮮新報」（日本語版）は、次のように伝えている。

三池淵管弦楽団劇場が開館／生演奏仕様の音響設備も

朝鮮労働党創建73周年に際して三池淵管弦楽団劇場が平壌市の牡丹峰区域に開館した。

同劇場は1960年代に建設され、人々に長く愛されてきた牡丹峰サーカス劇場をリニューアルしたもの。今年1月、金正恩委員長が劇場を世界レベルの管弦楽団専用劇場に改修するよう指示、劇場は現代的かつ華やかに生まれ変わった。

劇場は普通江のほとりに位置し、延べ面積は3万6610平方メートル。マイクやスピーカーなどの拡声装置を一切用いない1200余席の円形コンサートホール、録音室、創作室、訓練室、扮装室、事務室、生活室などが完備されている。

開館式に先立って劇場を現地指導した金正恩委員長は同劇場で楽団の演奏を聞き、コンサートホールの音響が本当に良い、楽器の生の響きが変色なしにそのまま生かされる、響きが良いので管弦楽の演奏がきれいに繊細に聞こえ、情緒的で安らかな感じがする、楽団の品格も一段高めると評価した。

金敬姫の観覧

この公演が注目されたのは、何といっても金正恩委員長の叔母にあたる金敬姫（キム・ギヨンヒ）が参席した事である。

2020年1月26日付け韓国の中日新聞（日本語版）は、驚きをもって次のように報じている。

北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）国務委員長の叔母であり処刑された張成沢（チャン・ソンテク）氏の妻である金敬姫（キム・ギヨンヒ）前労働党秘書が、夫が処刑された2013年12月から6年余りぶりに北朝鮮メディアに登場した。

労働新聞は26日、金正恩国務委員長と李雪主（イ・ソルジュ）夫人らがともに旧正月記念公演を観覧したと伝えた。新聞はこの日「金正恩同志が李雪主夫人とともに1月25日に三池淵（サムジヨン）劇場で旧正月記念公演を鑑賞した」と伝えた。

新聞は崔竜海（チエ・ヨンヘ）国務委員会第1副委員長と金敬姫、李曰煥（イ・イルファン）党副委員長、



趙甬元（チヨ・ヨンウォン）党第1副部長、金与正（キム・ヨジョン）党第1副部長、玄松月（ヒョン・ソンウォル）三池淵管弦楽団長らも公演会場に同席したと明らかにした。金敬姫氏の名前は崔竜海氏の次に出てきた。

新聞に公開された写真でも金敬姫氏は金正恩委員長と李雪主夫人の左隣の席に座った。金敬姫氏の左側には金正恩委員長の妹の金与正氏が座った。金委員長夫妻と金与正氏の間に姿を見せ政治的立地を回復した可能性も指摘される。

金敬姫氏は金正日（キム・ジョンイル）体制で北朝鮮の核心人物として活動した。金正恩委員長の執権直後にも後見人の役割をした。しかし夫の張成沢氏が処刑されてからは公開席上に姿を見せなくなり、肅清説まで出ていた。

今回の公演観覧には金委員長夫妻と金与正氏、金敬姫氏まで登場し、北朝鮮の「白頭血統」が総出動した。金委員長は昨年白頭血統を象徴する白頭山（ペクトゥサン）に登頂し、強力な体制守護の意志を表明したが、この日の公演観覧も内部結束を固めるためのものという分析が出ている。

新聞は「全観覧者は偉大なわが党の卓越した正面突破思想と実践綱領を讃え不屈の革命信念と堅忍不拔の闘争精神で党創建75周年になる意味深い年に社会主义強国建設史に特記する新たな勝利を成し遂げて行く革命的熱意にあふれていた」と伝えた。

プログラム

さて、実際にどのような曲目が演奏されて、歌われたのか？演奏曲全22曲の曲名、作詞者、作曲者、創作年、オリジナル（オリジナルを発表した音楽団体）の一覧表を次ページに掲げる。